

# 森のおくりもの 3月



イラスト：浅見勝彦（太白区）

ついに3月がやってきました。とは言っても、1月、2月は雪が多く、寒も厳しかったため、自然観察センター前の広場は根雪状態になっております。まだまだ消えてくれそうもありませんが、春に向かって大きく前進するのは間違いのないはずです。そして、その変化を感じに春の自然観察の森においで下さい。  
(菊池)

## あれ？つぼみがない？春の便りの 「マンサク」



マンサクの花はいつもなら2月中頃から見られ、当観察センターでは、待ち遠しい春がもうすぐ来ると感じさせてくれる花の一つです。それが、今年はマンサクのつぼみが見当たりません。みはらしの道に一本、木道に一本、つぼみをつけている木がありますが、その他のほとんどのマンサクは蕾がないのです。毎年、春の便りとしてお知らせできる花の一つが、このような状態なのでなんだか寂しいですね。

### 黄色いリボンのような花弁

芽吹き頃の枝はよくしなり、折れない弾力があるので、薪を縛ったりするのに利用します。世界遺産として有名な、合掌造りも、マンサクを「ネソ」と呼び、柱や桁を結束するのに利用しています。

早春の花は、花粉を媒介する虫が少ないからか、開花期間が長いものが多いような気がします。今年の花は少ないですが、咲くと長い間楽しめると思います。

昨年、種が飛んだ後の実が残っています。1つの実から2個の黒い艶々とした種が飛び出ます。



### マンサクにつく虫こぶ

#### マンサクメイガフシ



この虫こぶの痕が付いていると花が無くても「マンサク」とわかる目印になります。

観察の森では、マンサクに、よくこのようなイガイガの虫こぶ痕がついています。マンサク芽穂フシ「マンサクの芽にイガのようなフシ（虫こぶ）ができる」という、見たままの名前です。

7月頃できた新芽に、アブラムシの幼虫が寄生すると発生します。10月に中から成虫がたくさん出てきて、マンサクの小枝に幼虫を産みつけます。

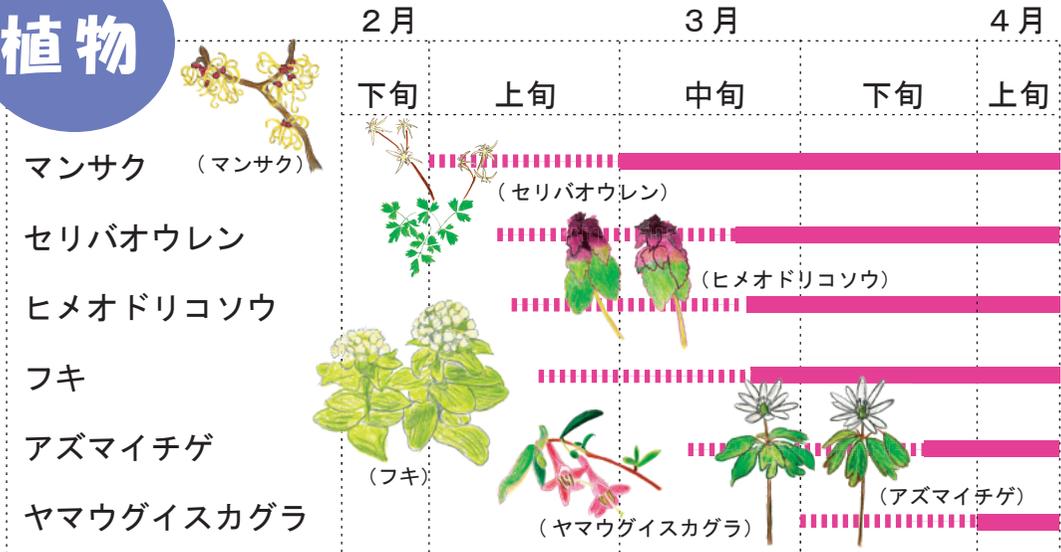
【レンジャー：黒川 周子】

名前の由来は、一番初めに花が咲くので、「先（ま）ず咲く」が訛ってついた説や、早春に黄金色で一面に花が咲くことから、秋の豊年満作の願いという意味で、マンサクと呼ばれたという説などがあります。

# 3月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

## 植物



今年はいつものより寒い日が続いているせいか、花の開花時期が全体的に遅れているようです。

それと山全体を見まわしてみるとマンサクの花芽がほとんどみつかりません。(他にツノハシバミ、ケヤマハンノキなども)

植物はたくさん実をつけた次の年は花芽をつけないで休眠するといいます。昨年、豊作だったのが原因なのではないでしょうか。春の訪れを知らせてくれる『まず咲くマンサク』の花が少ないのはちょっと寂しいですね。

ウグイスの初音(ホーホケキョ♪)が聞かれるのも3月なのですが昨年からは『笹鳴き』とよばれる『チャッチャツ』という鳴き声が全く聞かれません。

ウグイスもどこに行ってしまったのでしょうか？

【レンジャー：齋 正宏】

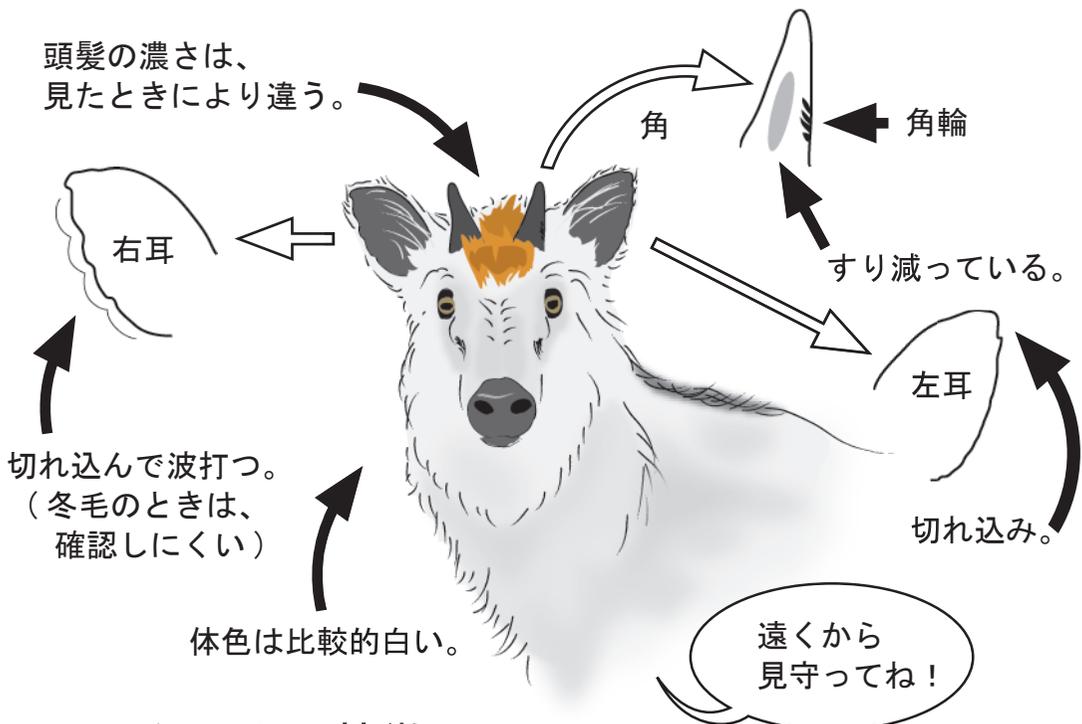
## 野鳥 昆虫



## みんなで自然観察

太白山のシンボル  
カモシカを撮ろう！

カモシカは太白山で比較的好く見られる動物ですが、自然観察の森に勤務する私の場合でも、年十数回程度しか見ていません。それだけでは、太白山のカモシカについてあまり多くのことはわかりません。そこで、みなさんから提供していただいた情報や写真についても集計し、まとめているところです（カモシカの保護のため目撃情報の一般公開はしていません）。最近のカメラは性能がいいので（もちろんみなさんの腕前もたいしたものですが）、中には細かい特徴まで写し込まれた写真も得られています。その中で、自然観察の森で比較的多く観察され、私が勝手に「ナミちゃん」と呼んでいる個体があります。右耳に小さい切れ込みがいくつかあって、ブナの葉のように波打つ感じからそう呼ぶことにしました。全体的に白っぽく、スッキリした顔立ちの美しいカモシカです。2010年6月9日に撮影されてから、今のところ9回撮影されています。2011年5月12日は、はおとの道付近で一頭だけで歩いていましたが、6月18日に、やすらぎの道に子連れで現れました。この森で出産し、子育てしているのはとても嬉しいですね。その後も何度かナミちゃんらしい個体が目撃されましたが、なかなか個体識別可能な写真（IDフォト）というものは得られないものです。みなさんも、カモシカの個体識別に挑戦してみませんか？



### ナミちゃんの特徴

【レンジャー：林 義雄】

注) カモシカの撮影のためトレイルを外れたり、休息場所に近づくのはマナー違反です。おどかさないように観察しましょう！

## これって同じもの？



3月になればもう春。とは言うものの、園内の散策路はもちろんのこと自然観察センターの周囲は真っ白な雪で覆われております。

ところで、晩秋から冬にかけてのキノコについて、私の見通しのあまさから園内ではまったく見ることはできず、本誌11月号の記事でとどまっておりました。予想をはずした心苦しきで、その後はキノコの話には極力ふれないようにしておりました。

ところが、最近になって、観察の森の周辺などでキノコが見られるようになり、園外ではありましたが、2月の中旬に太白区の某所において、写真①のような立派なキノコの株が見つかりました。さて、このキノコはなんでしょう。

実は、本誌11月号にも期待を込めて若干ふれておりましたあのエノキタケです。そう、白く柄の長い、野菜売り場でよく見かけるあのエノキダケです。ちなみに、野菜売り場でよく見かけるエノキタケは、光をあまり当てずビンで栽培したものが多く、天然ものとはまったく異なった様相をしております。運良く天然ものと遭遇した折には違いをじっくり観察していただければと思います。

さて、これからは徐々に春めいてくるとともに、太白山自然観察の森では、色とりどりの花々が咲き、昆虫などの生き物もたくさん見られる時期になります。冬とは違った春の観察の森をお楽しみいただければと思います。



写真①

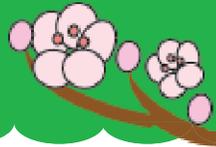


写真② 栽培エノキタケ

【館長：菊池正行】



# 3月の催し



3/17(土)

6:30~8:00

## 「おはよう野鳥かんさつ」

早春の雑木林を歩きながら  
野鳥たちのくらしを観察します。

【定員】20名

【持ち物】

暖かく動きやすい服装  
観察用具、雨具など

\* ↑ 双眼鏡無料貸出あり



## 「第10回みんなでつくる里山あーと展」

開催  
期間

3/7  
~ 29

「仙台市近郊の自然や野生の動植物に関するもの」  
をテーマに、みなさんから寄せられた写真、絵画、  
クラフトなどを展示します。

【会 場】自然観察センター研修室

【開館時間】9:00 ~ 16:30



\* 作品はお返しします。

日曜  
は

## 「ガイドウォーク」の日!

3月のテーマは『春をさがしに』です

4日, 11日, 18日, 25日

10:00~11:30

\* 申し込みの必要はありません。  
センター前にお集まりください。

\* 12月~3月まで午前のみガイドです。

★ 詳細は観察センターまでお問い合わせください。

表紙の絵を募集します。

里山や自然に関するものを描いてね!

休館日

5日, 12日, 19日, 26日

## ♪ 森へおいでください♪



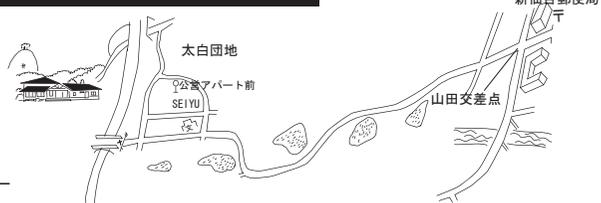
宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



## 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希  
望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封  
して、自然観察センターまでお申し込み  
ください。

2012年3月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

\*「社のひろば」のURLにカラーで「森のおくりもの」が載っています。→<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>